科目基础	レベルルエーモデリ		校 開講年度 平	·成30年度 (2	2010年辰)	Z t	業科目	径営情	十八「ソー間	
					T		Τ.			
科目番号 10007			7	科目区分		専門/選択				
授業形態 講義					単位の種別と	単位数	学修単位: 2			
			報工学専攻		対象学年		専2			
開設期 後期				週時間数			後期:4			
教科書/教		なし								
旦当教員		松野万	<u> </u>							
到達目	標									
(2) FD	けのしくみと	企業問情	のしくみと役割について球 報共有時の諸問題について ならびに評価手法について	「考察できる。						
レーブ	リック									
			里想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		の目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			E業間情報ネットワークの Jくみと役割について理解 ごきる。 割以上			企業間情報ネットワークの しくみと役割について理解 できる。 6割以上			企業間情報ネットワークの しくみと役割について理解 できない。 6割未満	
評価項目2			DIのしくみと企業間情報 も有時の諸問題について考 できる。 割以上	EDIのしくみと企業間情報 共有時の諸問題について考		EDIのしくみと企業間情報 共有時の諸問題について考 察できる。 6割以上			EDIのしくみと企業間情報 共有時の諸問題について考察できない。 6割未満	
評価項目3			事物化投資の意義と課題な 5びに評価手法について理 なできる。 割以上	情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。 7割以上		情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できる。 6割以上			情報化投資の意義と課題ならびに評価手法について理解できない。 6割未満	
 学科の:	到達目標項									
<u>ティマン:</u> 教育方:		<u> , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	IN IN							
既要	Д (期 期 別情報ネットワークのしく。 法について講義する。	———— みと役割、EDIC	のしくみと企業	間情報共	有時の諸問題	、情報	化投資の意義と課題ならびに	
 受業の進	め方・方法	教科書	- <u>伝について講義する。</u> 応じて、演習を行なう場	とづいて授業を 合がある。	進める。					
主意点			me o cr pan cristory mi							
=::::::::::::::::::::::::::::::::::::	面									
<u> </u>		週	授業内容	-		调ごと	 の到達目標			
		1週	ガイダンス				・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。			
		2週	経営組織と情報システム①			・経営解でき	・経営管理の機能と技術,情報システムとの関係を 解できる。			
		3週	経営組織と情報システ		解でき	・情報戦略の策定と情報統括役員(CIO)の役割を理解できる。				
	3rdQ	4週	情報システムの運用と				1 - 11/41	3 #+## - +> > - */- - 1		
						コンヒ	ューティン	グの進展	《と特徴,ならびにクラウド 『を理解できる。	
		5週	情報システムの運用と	管理②		コンピ ・情報 解でき	ューティン: システムの る。	グの進展 アウトン	を理解できる。 バーシングの形態と特徴を理	
		6週	情報化投資①	管理②		コンピ ・情報 解でき ・情報	ューティン: システムの: る。 8化投資の評(<u>グの進展</u> アウトン 西手法を	を理解できる。 ソーシングの形態と特徴を理 理解できる。	
		6週	情報化投資① 情報化投資②	管理②		コンピ ・情報 解でき ・情報	ューティング システムので る。 化投資の評例 化投資の評例	グの進展 アウトン 西手法を 西手法を	を理解できる。 ソーシングの形態と特徴を理 と理解できる。 と理解できる。	
		6週 7週 8週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③			・情報 ・情報 ・情報 ・情報 ・・情報	ユーティング システムのご る。 B化投資の評例 化投資の評例 B化投資の評例 マースの現り	グの進展 アウトン 西手法を 西手法を 西手法を 武と動向	を理解できる。 ソーシングの形態と特徴を理 理解できる。	
 後期		6週	情報化投資① 情報化投資②	DI(Î)		コン情で ・解で ・情で ・情で ・情で ・情で ・情で ・情で ・情で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・	ユーティング システムの る。 化投資の評 化投資の評 化投資の評 マースの現り でータ交換	グの進度アウトと 西手法を 西手法を 西手法を 武と動向	を理解できる。 ソーシングの形態と特徴を理 E理解できる。 E理解できる。 E理解できる。	
		6週 7週 8週 9週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とED	DI①		コント 解で情報 ・情報 ・情報 ・情報 ・概要電解で ・理解で ・理解で ・理解で ・問題で ・では、	ユーティング システムの る。 化投資の評例 化投資の評例 で一スの現り で一スの現り できる。 データ交換 できる。	グの進展 アウト : を 西手法を 西手法を (EDI) (EDI) (R利用と	を理解できる。 アーシングの形態と特徴を理 理解できる。 理解できる。 で理解できる。 について、B2BおよびB2CCCのしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引	
	4thO	6週 7週 8週 9週 10週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEC 企業間電子商取引とEC	DI① DI② DI③		コン情で ・解す ・情情 ・概・理・に ・に ・る ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で ・で	ユーティン システムの さる。 化投資の評 化投資の評 化投資の評 でースの現り ご世解できる。 でき。 できる。 でき。 できる。 できる。 でき。 できる。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき	グの世界というでは、 がでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を理解できる。 アーシングの形態と特徴を理解できる。 と理解できる。 と理解できる。 について、B2BおよびB2Cc のしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引	
	4thQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEC 企業間電子商取引とEC 企業間電子商取引とEC	DI① DI② DI③ Pと企業間連携①		コン情で ・解 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ユーティン システムの える。 化投資の評 化投資の評 化投資の評 マースの現状 理解できる。 データ交換 きる。 データの二次 る法規につい は連鎖管理(ダーンSCMの	グの 使 アウト 大 を で で で で で で で で で で で で で	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理と理解できる。 理解できる。 理解できる。 について、B2BおよびB2Caのしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引いてきる。 の概要を理解することができる。	
发期	4thQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEE 企業間電子商取引とEE 企業間電子商取引とEE オープンネットワーク	DI① DI② DI③ 'と企業間連携① 'と企業間連携②		コ・解 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ユーティン システムの える。 化投資の評 化投資の評 化投資の評 マースの現材 データのこか データのこか できる。 データのこか できる。 データのこか できる。 データのこか できる。 データのこか できる。 アーキテクのこか アーキテク・ アーキテク・	グア	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理解できる。 と理解できる。 と理解できる。 について、B2BおよびB2Cccのしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引 できる。 の概要を理解することができる。 と関係できる。 の概要を理解することができる。 の概要を理解することができる。	
	4thQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEE 企業間電子商取引とEE 企業間電子商取引とEE オープンネットワーク	DI① DI② DI③ 'と企業間連携① 'と企業間連携②		コ・解 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ユーティンである。 は代投資の評例では投資の評例である。 は代投資の評例である。 データ交換できる。 データのについる法規管理(ジェーンSCMのについる。 データのについる。 にはいるできる。 にはいるできる。 にはいるできる。	グア	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理解できる。 と理解できる。 と理解できる。 について、B2BおよびB2Cccのしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引 できる。 の概要を理解することができる。 と関係できる。 の概要を理解することができる。 の概要を理解することができる。	
发期	4thQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEE 企業間電子商取引とEE オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク 東期試験 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまと	DI① DI② DI③ Cと企業間連携① Cと企業間連携② Cと企業間連携③		コ・解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユーティンの システムの にお資の評例 化投資の評例 化投資の評例 でフースできる。 デラクを デラータのについ できまうのについ できまができます。 アーキテクを 間においます。 においますがある。	グア	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理解できる。 に理解できる。 に理解できる。 について、B2BおよびB2Cののしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引 できる。 の概要を理解することができる。 と対することができる。 の概要を理解することができる。 について、トレビアル化について、トレビアできる。	
		6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEEE 企業間電子商取引とEEE オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク 定期試験 答案返却・解答解説 全体の学書アンケートの	DI① DI② DI③ Cと企業間連携① Cと企業間連携② Cと企業間連携③		コ・解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユーティンの システムの にお資の評例 化投資の評例 化投資の評例 でフースできる。 デラクを デラータのについ できまうのについ できまができます。 アーキテクを 間においます。 においますがある。	グア	を理解できる。 アーシングの形態と特徴を理解できる。 理解できる。 理解できる。 ではないて、B2BおよびB2Cののしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引いてきる。 の概要を理解することができる。 と解することができる。 を関することができる。 ののモデル化について、トレビ解できる。	
モデル		6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEEE 企業間電子商取引とEEE オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク 定期試験 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまと 授業改善アンケートの	DI① DI② DI③ Cと企業間連携① Cと企業間連携② Cと企業間連携③ Cと企業間連携③ Cと企業間連携③ Cと企業間連携③		コ・解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユーティンの システムの にお資の評例 化投資の評例 化投資の評例 でフースできる。 デラクを デラータのについ できまうのについ できまができます。 アーキテクを 間においます。 においますがある。	グア	を理解できる。 アーシングの形態と特徴を理解できる。 理解できる。 理解できる。 ではいて、B2BおよびB2Cののしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引いできる。 の概要を理解することができる。 を関することができる。 のも、ことができる。 のも、ことができる。 のも、これについて、トレーを関できる。	
モデル : ∂類	コアカリ=	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEEE 企業間電子商取引とEEE オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク 定期試験 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまと 授業改善アンケートの	DI① DI② DI③ Cと企業間連携① Cと企業間連携② Cと企業間連携③		コ・解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユーティンの システムの にお資の評例 化投資の評例 化投資の評例 でフースできる。 デラクを デラータのについ できまうのについ できまができます。 アーキテクを 間においます。 においますがある。	グア	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理解できる。 に理解できる。 に理解できる。 について、B2BおよびB2Cののしくみと史的発展過程を 決済、ならびに電子商取引 できる。 の概要を理解することができる。 と対することができる。 の概要を理解することができる。 について、トレル化の概要を理解できる。 にがして、トレルができる。	
	コアカリ=	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラム	情報化投資① 情報化投資② 情報化投資③ 企業間電子商取引とEEE 企業間電子商取引とEEE オープンネットワーク オープンネットワーク オープンネットワーク 東別試験 答案返却・解答解説 全体の学習内容と到達目 の学習内容と到達目	DI① DI② DI③ Cと企業間連携① Cと企業間連携② Cと企業間連携③ Cと企業間連携③ Cと企業間連携③ Cと企業間連携③		コ・解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユーティンの システムの にお資の評例 化投資の評例 化投資の評例 でフースできる。 デラクを デラータのについ できまうのについ できまができます。 アーキテクを 間においます。 においますがある。	グア	を理解できる。 パーシングの形態と特徴を理解できる。 に理解できる。 に理解できる。 について、B2BおよびB2Cののしくみと史的発展過程を決済、ならびに電子商取引いできる。 の概要を理解することができる。 とジュール化の概要を理解できる。 について、トレルでできる。 にが理解できる。 にが理解できる。 にが理解できる。	

基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0